

令和8年度全国学力・学習状況調査結果（概要）

1 教科に関する調査より

（1）国語

- ・平均正答率は、兵庫県及び全国平均とほぼ同程度です。
- ・気持ちがより伝わるように表現を工夫して書く問題や、助動詞の働きに関する問題、必要に応じて質問しながら話の内容を捉える問題の正答率が高くなっており、兵庫県及び全国平均を上回っています。
- ・一方で、文章を読んで理解したことに基づき、自分の考えを確かなものにしたり、表現の工夫について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだしたりする力を身に付けさせることが課題となっています。

（2）数学

- ・平均正答率は、兵庫県及び全国平均を上回っています。
- ・箱ひげ図と四分位数の対応に関する問題や、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題、反比例の関係を表す表の特徴を捉えて x の値に対応する y の値を求める問題の正答率が高くなっており、兵庫県及び全国平均を上回っています。
- ・一方で、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を、度数分布多角形特徴を基に説明したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明したりする力を身に付けさせることが課題となっています。

（3）英語

- ・オンライン方式による統計的な手法で学力を図る「IRT スコア」において、兵庫県及び全国平均を上回っています。
- ・日常的な話題について、目的に応じて必要な情報を読み取る問題や、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、書くことや読むことによる実際のコミュニケーションにおいて活用する問題の正答率が高くなっており、兵庫県及び全国平均を上回っています。
- ・一方で、短い文章を読み、要点を捉え、考えやその理由を書く力を身に付けさせることが課題となっています。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問調査より

◇ 優れているところ

- ・朝食を毎日食べている生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高く、基本的な生活習慣が確立されています。
- ・自分にはよいところがあると感じている生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高く、先生は自分のよいところを認めてくれていると感じている生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・人が困っているときは進んで助けると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。

- ・ 人の役に立つ人間になりたいと回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。
- ・ 学校に行くのが楽しいと感じている生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。
- ・ 友達関係に満足していると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均全国平均を大きく上回っています。
- ・ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがあると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。
- ・ 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均よりも高くなっています。
- ・ 授業や学校生活では、友達や周りの考えを大切にして、お互いに協力しながら問題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。

◆ 課題とされるところ

- ・ 将来の夢や目標を持っていると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均を下回っています。
- ・ PC・タブレットなどの ICT 機器を使って文書を作成したり、情報を整理したりすることができると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均をやや下回っています。
- ・ インターネットを使って情報を収集することができると回答した生徒の割合が兵庫県及び全国平均をやや下回っています。
- ・ 授業で自分の意見を発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと回答した生徒の割合が全国平均を下回っています。

3 今後の取組

教科及び質問調査の結果から、ICT 機器を効果的に活用する力、自分の考えをまとめたり説明したりする力を身に付けさせることが課題となっています。このことを踏まえ、各授業において、Chromebook を主体的な学びや情報収集等の手段として効果的に活用し、情報活用能力の育成を図るとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

質問調査の結果から、自分にはよいところがあると感じている生徒の割合が高く、先生は自分のよいところを認めてくれていると感じている生徒の割合が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。今後も学級活動や学校行事、生徒会活動等、あらゆる教育活動における人と人とのふれあいを通して、生徒の自己肯定感、自己有用感の向上に努めてまいります。また、学校に行くのが楽しいと感じている生徒や、友達関係に満足している生徒が兵庫県及び全国平均を大きく上回っています。引き続き、生徒同士が互いに高め合い、支え合い、認め合えるようなあたたかい学校づくりを推進してまいります。

今後も、学校と保護者が互いに連携しながら、生徒の健全育成に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。